

## 『(仮)飯山ぷらざ』建設に関する資料



南側エントランス

## 2. 庭に開かれたエントランスイメージ／南側

- 底が大きく庭に対して開き、ナカミチから活動が溢れ出る開かれたエントランスとします。
- 内から外へと木の素材を出すことで、多くの人を温かく招きいれます。

## 3. 象徴的なエントランスイメージ／北側

- 大きなスリットを設け、人々を迎え入れる象徴的なエントランスとします。
- 天井の高い空間とすることで、劇場に訪れる高揚感を演出します。

## 1. 道が繋ぐ交流ぷらざ／建物の考え方

## I. にぎわいとコミュニティを生む「道」の建築

道のような連続的な賑わいを生み出す開かれた空間「ナカミチ」を提案します。

## II. まちのHUB（結節点）をつくる

駅周辺と文教施設・市街地を連動させた公共空間を「道」として導くことにより新しいまちの活動の中継地点をつくります。

## III. みんなでつかう開かれた建築

ナカミチは、様々な催事・活動にあわせて拡張性を持ち、多方向からアクセスが可能な市民に開かれた活動の場となります。



北側エントランス

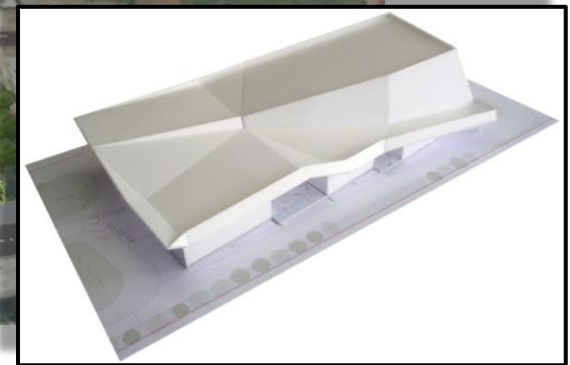
この資料に掲載されている図等は9月時点のものであり、今後の設計により変更もあり得ます。（あくまでもイメージです）

#### 4. 積雪に抵抗する上部構造、地震に抵抗する下部構造／構造計画

- 鉄骨の梁で屋根を支持。補助材として木材を使用し“たわみ”や“座屈”を防ぎます。
- 鉄筋コンクリート造の耐震壁付ラーメン構造により直下型地震にも耐える構造とします。

#### 5. 雪に強く、周囲の景観と調和する建物／外観計画

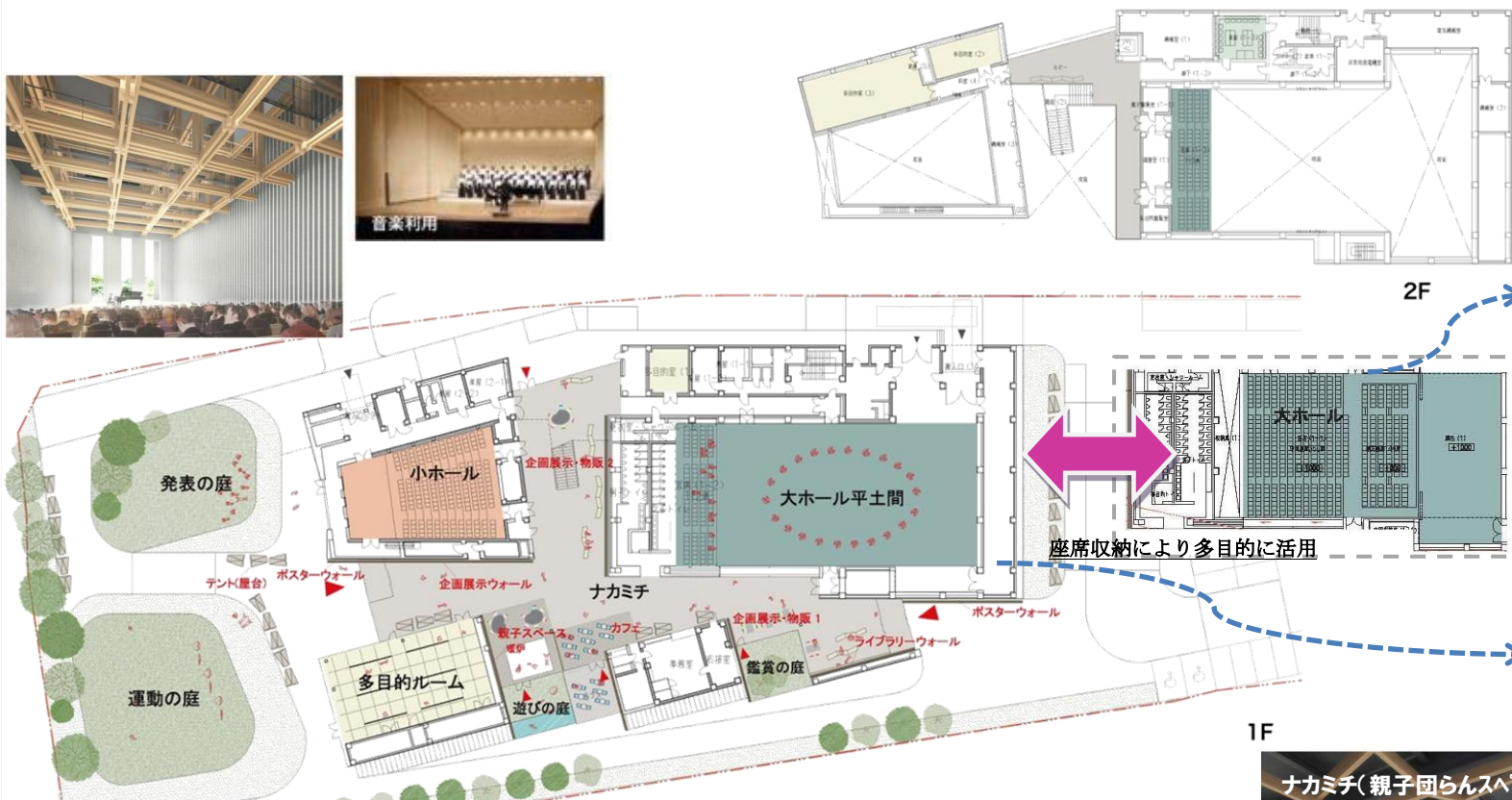
- 雪庇やスガモレをつくらない屋根形状(構造)とします。
- 雪に強い屋根鋼板葺きの工法を検討します。
- 西側の片山稲荷(長峰丘陵)やその周辺のまち並と調和する建物形状とします。



## 6. “ぶらざ”で広がる活動／利用計画・内観イメージ

□大小様々な空間では、自由な発想でフレキシブルな利用(活動)が可能となります。  
(大ホール 600 席、小ホール 200 席、多目的スタジオ4箇所、ナカミチ(フレキシブルスペース)

**明るく繊細な“小ホール”** 木組みを露出し、天井高を高くすることで質の高い音響環境を実現します。



## 温かみのある“大ホール”

天井の木架構を露出し、立体的で温かみのあるホールとします。平土間にしたときは、ナカミチに大きく開くことで様々な利用を可能としています。



プロセニウム形式 (演劇利用)



平土間利用

## 様々な活動が溢れ賑わいが連続する“ナカミチ”

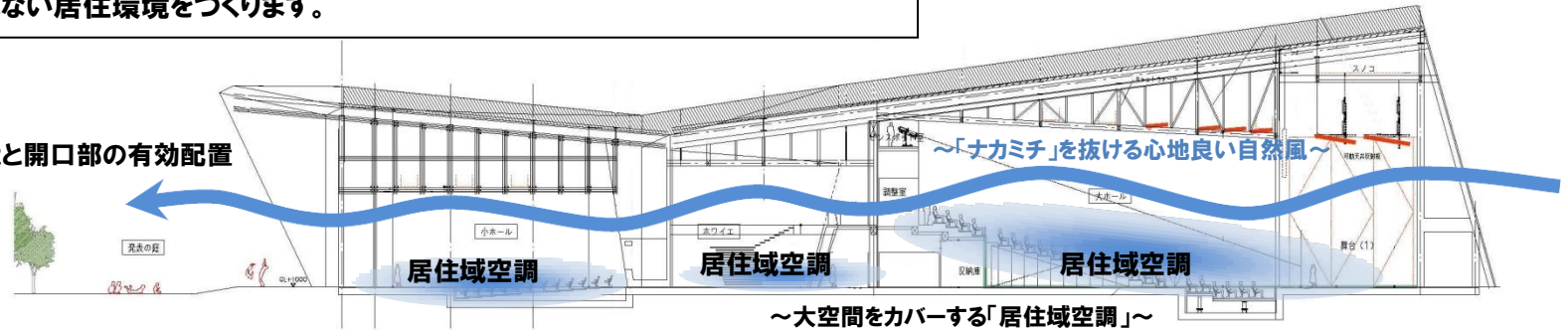
ナカミチ全体を使ったイベントや、数か所で異なる活動が同時に行われたり、様々な活動の規模にあわせたナカミチのスペースを利用する事が可能です。



## 7. ランニングコストを抑えた空調と建物形状／空調計画

- 自然エネルギーを活用した空調システムを構築し、ランニングコストの節減と自然環境に配慮します。
- 風通しの良い「ナカミチ」の空間が、春～秋の空調コストを抑えます。
- 居住域空調を採用する事で、無駄な冷暖房熱をカットします。
- 断熱効果により外気に左右されない居住環境をつくります。

自然風が抜けやすい「ナカミチ」の形状と開口部の有効配置



## 8. 活動のニワ／外構計画

□ 敷地全体に広がるアクティビティをつくりだし、「ニワ(庭)」が“ぶらざ”と“まち”をつなぎます。

### 1 発表のニワ



- ・ホールと連動
- ・斜面に座れるニワ
- ・野外ステージで音楽やダンスなどのパフォーマンスを行うことができます。観客は座ったり寝転がったりしながら発表を見ることができます。

### 2 運動のニワ



- ・多目的ルームと連動
- ・平坦で広い面を持ったニワ
- ・ラジオ体操や屋外のヨガ教室などみんなで体を動かしながら交流することができます。

### 3 食と遊びのニワ

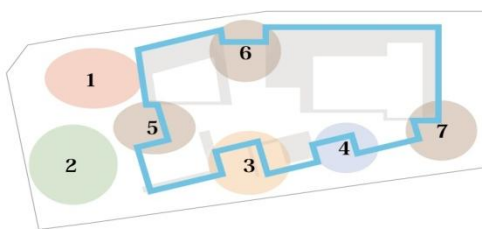


- ・カフェ、親子スペースと連動
- ・食事や休憩ができるニワ 親子で交流できるニワ
- ・子供が遊べる水場や軽食のできるテラスによって、開放的な半屋外空間をナカミチと一体的に利用することができます。

### 4 鑑賞のニワ



- ・ナカミチと連動
- ・屋外展示ができるニワ
- ・アート作品の展示や植栽によって訪れた人々の眼を楽しませ、華やかなエントランス空間を演出します。



### 5 表のニワ



- ・ナカミチ、多目的ルームと連動
- ・外部に向けて大きく開けた入口のニワ
- ・広い軒下でみんなが集まるイベントを開くことができます。多目的ルームとつなげて冬場の運動・パフォーマンスに使うこともできます。

### 6 中のニワ



- ・ナカミチ、ホールと連動
- ・山の緑やホールの壁面に開かれた入口のニワ
- ・たまりの空間でワークショップなどを開催したり、壁面を利用した展示を行うことができます。

### 7 後のニワ



- ・ナカミチ、ホールと連動
- ・交通アクセスがよく透明感のある入口のニワ
- ・徒歩、自転車、自動車などそれぞれの手段で訪れる人々の玄関となります。サイクリングや観光ツアーの集合解散場所にもなります。